

永 生 病 院 だ よ り

# ゆるめま

2011  
VOL. 24



- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 健康ひろば「変形性膝関節症の治療」
- ▶ 摂食・嚥下リハビリテーション
- ▶ 第19回日本慢性期医療学会 札幌大会
- ▶ 精度保証施設として認定
- ▶ 「かがわ地産地消応援企業」として  
当院の給食部門が認定
- ▶ 編集後記

## 病院理念

・信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

## 基本方針

- ・良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
- ・患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
- ・医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、  
全員参加で取り組みます



KEIRYOKAI

## ● 理事長のあいさつ

## がんばろう日本!

梅雨が明け、夏本番となり30度を超す日が続いています。東日本被災地の方々には不自由な生活をしいられ、ご苦労はいかばかりかと心よりお見舞い申し上げます。従来通りの生活が普通に送れることがどれほどありがたいことか身にしみます。地震、津波より原発の方が世界を巻き込んで大きな問題となっています。安全対策がとられていると信じきっていた「原発の安全神話」がこんなにもろいものであったことに驚愕の思いです。

国民投票で「脱原発」の方向へと舵をきったドイツをはじめ、脱原発は世界的潮流となりつつあるようです。半世紀前に比較文明学者梅棹忠夫は、未刊の書「人類の未来」の中で、地球規模のエコロジーの視点から人類の暗い未来を見据え、暗黒のかなたの光明を求めていることが記されているようですが、謙虚にそのようなことを考える時なのではないかと思えます。

6月30日～7月1日に札幌において日本慢性期医療学会が開催されました。「医療保険・介護保険同時改定を控えて」と題する記念シンポジウムが行われ、日本医師会長、全日病会長、厚生労働省医療課長、老人保健課長など改定を巡るキーパーソンが意見を発表されました。原中会長は、改定には膨大なエネルギーが必要なので、今は復興支援に全身全霊を捧げる時であり、

同時改定は見送るべきとの考えを表明されたが、全日病会長は、質の高い地域医療体制を構築する観点から、慢性期医療にプラス改定を要求すべきであると強調された。一方、厚労省の課長は、医療保険、介護保険それぞれの立場ですすめている改定項目について述べられ、互いの議論はあまりなされませんでした。「医療崩壊」という言葉が使われて久しくなっていますが、医師不足、医師偏在、医師の志の低下などいろいろ言われる中で、今この時期に、「医療再生」に向けてもう少しあつい議論がなされることを期待していました。

長生きを望んだ結果、世界に誇れる高齢化社会を迎えた日本において、統計的な数字だけで議論した医療費抑制策をうちだすのではなく、人生の終末期においてみじめな結果にならぬよう、これからの医療の本質はどうあるべきなのかを考える必要があると思います。

理事長 森 伊津子

体の安心  
情報板

## 健康ひろば

第13回  
テーマ

## 「変形性膝関節症の治療」

変形性膝関節症は、加齢や過度の関節運動、あるいは体重の増加や外傷などにより、関節に負担がかかり、そのため膝の関節の軟骨がいたみ、骨が変形してくる病気です。変形性膝関節症の治療には、一般に生活指導、理学療法、薬物療法の3つがありますが、症状が進行すると手術的治療が必要となることもあります。



変形性膝関節症の治療は時間がかかりますので、医師の指示にしたがって治療を続けてください。

## 3つの変形性膝関節症治療

## 1. 生活指導

- 肥満気味の方は標準体重まで体重を減らしましょう。
- 歩くときはできるだけ杖を使いましょう。
- 正座のように膝を曲げる状態は膝に負担がかかりますので椅子にすわり膝に負担のかからないようにしましょう。トイレできれば洋式トイレを使いましょう。

## 2. 理学療法

- 膝を伸ばす筋肉である大腿四頭筋(太ももの筋肉)の筋力を鍛えることによって、膝がしっかりと安定してきます。

## 3. 薬物療法

- ヒアルロン酸製剤等の関節腔内注射
- 鎮痛・抗炎症薬の錠剤やカプセル剤など
- 鎮痛・抗炎症薬の貼付剤や軟膏剤

整形外科 高田 成基

せつしょく えんげ  
**摂食・嚥下リハビリテーション**リハビリテーション科  
清水 五弥子

## ■はじめに

私たちが食べ物を体内に取り込む(口から、咽頭、食道、胃へと送り込む)ための機能を『摂食・嚥下機能』といい、その機能に障害を来した状態を『摂食・嚥下障害』といいます。摂食・嚥下障害になると、脱水・栄養不良・窒息・誤嚥性肺炎など、深刻な問題を引き起こします。(誤嚥とは、唾液や食べ物が気管に入ってしまうことで、窒息や肺炎の原因にな

ります)また、食べる楽しさを失い、生活の質が低下することも重要な問題です。当院では、医師、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士を中心としたチーム医療で、摂食・嚥下障害の治療、栄養不良や誤嚥性肺炎の予防を行っています。

## ■摂食・嚥下障害の原因

摂食・嚥下障害の主な原因疾患は、脳梗塞や脳出血などの脳卒中です。急性期脳卒中患者の約30%に摂食・嚥下障害を合併すると言われています。その他、頭部外傷やパーキンソン病、口腔や食道の疾患など、様々な原因疾患があります。また、年齢とともに飲み込む力が弱くなり、摂食・嚥下機能が低下してくることもあります。

## 主な症状

- ✓食事中や食後にむせや咳が多い
- ✓低栄養(体重が減る)
- ✓食後にガラガラ声になる
- ✓食事に時間がかかる
- ✓口の中が乾燥している
- ✓肺炎(発熱)を繰り返す

## 評価(検査)

## 1.反復唾液飲みテスト

30秒間に、何回唾液が飲み込めるかを評価します。30秒間に2回以下を異常とします。

## 2.水飲みテスト

水分を飲むか、飲んだ時にムせないかどうかを評価します。

## 3.嚥下造影検査(VF)

透視室で、エックス線を用いて、食べ物の飲み込む様子を観察します。食べ物の通過、のどの奥に食べ物が残っていないか、誤嚥の有無を確認することが出来ます。この検査では、どの部位で障害が起こっているのか、どのような食べ物であれば安全に食べることができるか、どのような姿勢で食べれば安全に食べることができるかを評価することができます。



## リハビリテーション

## 1.口腔ケア(口の中の清潔・衛生管理)

口腔内をきれいにし、衛生状態を改善させます。口腔内の細菌を除去することで、誤嚥性肺炎の発生を低下させます。

## 2.間接嚥下訓練(食べ物を用いない訓練)

摂食・嚥下機能に関係する筋肉の強化、硬くなった顎関節や頬部、舌に対するストレッチ、嚥下反射(飲み込みの反射)を促す訓練などを行います。食べ物を用いないので、誤嚥の危険性が高い患者さんにも行える訓練です。

## 3.直接嚥下訓練・摂食訓練(食べ物を用いる訓練)

通常は、ゼリー食を訓練食として用い、段階的に食事形態を変化させ、難易度を増していきます。食事中や食後に痰が増えていないかどうかなど、誤嚥の徴候を見逃さないようにします。その他、当院では、嚥下食(ゼリー等)、ソフト食(ペースト状)、一般食(粥、軟菜等)と、さまざまな形態の食事があり、患者さんそれぞれに合った食事を提供しています。

## ●第19回日本慢性期医療学会 札幌大会

平成23年6月30日、7月1日 第19回日本慢性期医療学会 札幌大会に参加し、当院から4演題の発表をしました。良質な医療を目指し、多職種一丸となり、日々取り組んでいることを発表しました。今後も信頼される病院となるよう自己研鑽を継続していきます。



## ● 精度保証施設として認定



平成23年4月1日、当院が日本臨床衛生検査技師会の運営する精度保証施設として認証を受けました。これは、医療の高度化に伴い、ますます重要となっている検査データに関して、その信頼性が十分に保証できると認められた施設を精度保証施設として認証する制度です。全国では364施設が、香川県では当院を含め7施設が認証されました。

今後も、信頼性の高いデータを提供し、より質の高い医療が行えるよう努力していきます。

精度保証施設認証書

## ● 「かがわ地産地消応援企業」として当院の給食部門が認定!

平成23年4月25日に「かがわ地産地消応援企業」として認定を受けました。

「地産地消応援企業認定制度」とは、県内の病院等において地産地消の取り組みを促進し、地産地消の輪を広げる取り組みとして設けられたものです。

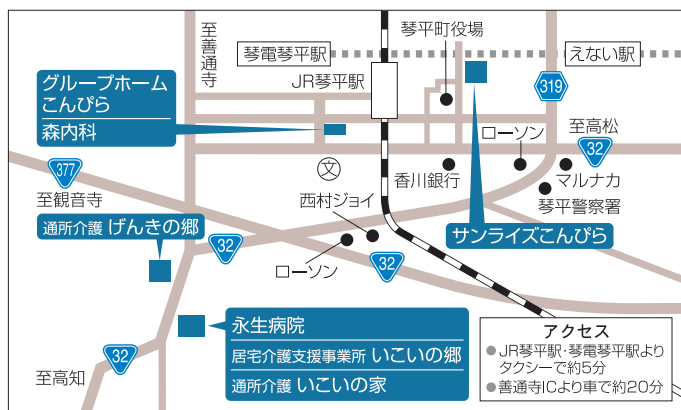
当院の栄養科では、毎食の給食の御飯を100%香川県産の米を使用したり、季節感の感じられる季節食や行事食、また、家族参加型の毎月のバイキングを中心に、香川県産の材料を使用しての地産地消メニューを取り入れる事で、患者様やご家族の方に喜んで頂いています。

今回の認定を機に、さらに地産地消の取り組みに力を入れ、患者様をはじめ、地域の皆様にも情報発信していきたいと思っております!



### 【編集後記】

今年の夏は節電の夏です。日本各地で様々な取り組みが行われています。ゴーヤやひょうたんのグリーンカーテンも本当によく目にするようになりました。暑さが厳しくなる毎に被災地の方々の生活が案じられますが、遠く離れた私たちにもできることはたくさんあると信じて、ひとつでも多くできることを増やせるように日々取り組んでいきたいと思っております。



### 医療法人 圭良会

● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんぴら (認知症高齢者グループホーム)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんぴら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600



### 永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第24号

発行元：医療法人 圭良会 永生病院

編集者：医療サービス改善委員会

住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3

TEL:0877-73-3300

FAX:0877-73-3202

永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>

eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)

発行年月日：平成23年8月1日